

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第1回社会教育委員会議
開催日時	令和5年8月7日（月）午後3時～5時
開催場所	所沢市役所6階 604会議室
出席者の氏名	別紙のとおり
欠席者の氏名	別紙のとおり
説明者の職・氏名	
議 事	<p>(1) コミュニティスクールについて</p> <p>(2) 公民館運営審議会の答申後の対応について</p> <p>(3) その他</p>
会 議 資 料	<p>資料1：学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について</p> <p>資料2：学校運営協議会制度 Q&A</p>
担 当 部 課 名	<p>教育長 中島 秀行、教育総務部長 千葉 裕之、 教育総務部次長 池田 淳、文化財保護課長 稲田 里織、所沢図書館長 橋本 浩志、学校教育課 長谷川 義博</p> <p>教育総務部社会教育課 社会教育担当参事 糟谷 苗美、主査 宮岡 さやか、主任 高橋 幸大、 生涯学習推進センター所長 藤巻 幸子</p> <p>教育総務部社会教育課 電話 04（2998）9242</p>

所沢市社会教育委員会議出欠一覧

令和5年8月7日(月)午後3時から 市役所6階604会議室

選出根拠※	氏名	備考	出欠席
学校教育関係者	よしかわ えいいち 吉川 英一	所沢市立小中学校校長会 (向陽中学校校長)	○
学校教育関係者	いしみね ゆうだい 石嶺 雄大	所沢市幼児教育振興協議会 (美原幼稚園 園長)	○
社会教育関係者	かとう いちお 加藤 市男	所沢市公民館運営審議会 民生・児童委員	○
社会教育関係者	なんば ひろゆき 難波 裕之	所沢こどもルネサンス実行委員会	○
社会教育関係者	たけうち まこと 竹内 聡子	所沢市スカウト協議会 (ガールスカウト埼玉県第36団)	○
社会教育・家庭教育関係者	はりゆう きよみ 針生 清美	柳瀬小学校図書ボランティア代表 柳瀬公民館保育スタッフ 柳瀬荘黄林閣(国重要文化財)管理人	○
社会教育関係者	おざわ さだやす 小沢 貞泰	(元)北秋津小学校区 心豊かな子どもを育てる学校と地域づくり連絡会議 北秋津ネット 議長	○
社会教育関係者	こまつ ふみこ 小松 扶美子	所沢市連合婦人会 会長	○
社会教育・家庭教育関係者	こやま ともひろ 古山 智啓	所沢市PTA連合会 会長	○
社会教育・家庭教育関係者	こばやし ひでこ 小林 ヒデ子	民生・児童委員 人権擁護委員	○
社会教育関係者	すどう とくこ 須藤 とく子	元市内小学校長	○
学識経験者	しか と かずのり 鹿戸 一範	秋草学園短期大学 准教授	○
学識経験者	おおぎはら あつし 扇原 淳	早稲田大学人間科学学術院 教授	○
学識経験者	ひらつか としお 平塚 俊夫	元市内中学校長	○
学識経験者	せき なおき 関 直規	東洋大学文学部 教育学科教授	×

※選出根拠＝所沢市社会教育委員会条例第2条

令和5年7月1日現在

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長	<p>【1 開会】 令和5年7月1日付で、新たに社会教育委員となった吉川委員へ委嘱状を交付した。</p> <p>【2 あいさつ】 《教育長・議長があいさつを行った後、議長の進行により協議に入った。》</p> <p>コロナが落ち着いて、今年は様々な地域で祭りが再開している。昨日は、柳瀬小学校を会場として、柳瀬地区の祭りが4年ぶりに開催された。4年ぶりということで地域が祭りを主催することが難しいと話があり、今年は柳瀬小学校長が実行委員長、柳瀬中学校長が副実行委員長となり、そこに地域が関わって実施した。地域の方がたくさんテントを出していて、盆踊りの櫓が組まれていて、すっかり地域の祭りとなっていた。それだけ柳瀬地区に力があるということがよくわかった。</p> <p>今日の議題は2つある。1つはコミュニティスクールである。埼玉県は、全国的にコミュニティスクールが進んでいる県であるが、所沢市では実施していなかった。ここで、所沢市も始めなければということで、今年度から手を挙げてくれた学校で試行的に実施している。地域と学校を結びつけることができる仕組みであるので、委員の皆様から様々なご意見をいただきたい。</p> <p>公民館運営審議会後の対応も議題となっている。難しい話ではあるが、審議をよろしく願いたい。</p>
議長	<p>【3 議事】 (1) コミュニティスクールについて 事務局より説明をお願いしたい。</p>
社会教育担当参事	<p>コミュニティスクールとは、保護者や地域の方々が一定の権限をもって学校運営に参画する仕組みのことで、所沢市教育委員会では、市内全小中学校への導入に向けて準備を進め、今年度より4つの学校をモデル校として試行を開始している。コミュニティスクールを進めていくには、地域住民が当事者として関わり、地域と学校が一体となって取り組むことが求められる。この社会教育委員会議では、地域で社会教育活動を実践されている委員の皆様に、地域の当事者として様々な視点から意見をいただきたいと考えている。本日は、コミュニティスクールへの理解を深めるために、「コミュニティスクールとは何か」、「所沢市の現状・課題はどうなっているのか」等について</p>

<p>学校教育課</p>	<p>て 学校教育課より説明し、その後、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えている。それでは、学校教育課指導主事より説明をさせていただく。</p> <p>《資料3に基づきスライドでの説明の後、資料4に基づき口頭で説明があった。》</p>
<p>議長</p>	<p>このことについて、質問や意見、感想等はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>現在、南小学校の学校評議員や南陵中のPTA会長、南陵中学校区安全安心支部会議委員等、複数の委員を担当している。コミュニティスクールが始まると学校評議員や安全安心支部会議はどうなるのか。現時点で様々な会議があってPTAの負担が大きく、なり手が少なくなっている中、コミュニティスクールが加わるとさらに負担が大きくなるのではないかと。おそらくPTA会長がコミュニティスクールに関わると思うが、今後私の任期が終わるときに、うまく引き継げるのか不安である。会長だけでなく校長も数年で変わる。変り目の時にどのような対応を取ればよいか。</p>
<p>議長</p>	<p>学校評議員や学校応援団等の現在存在する組織との違い、統廃合の必要性、人が変わることをどのようにとらえているのかという質問である。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>現在ある組織をどのようにしていくかは課題である。教育委員会としては、学校評議員は無くしていくことを考えている。ただ、安全安心支部会議は、地区によってやり方や体制が違うため、地区ごとに対応は変わってくる。各地区でどのようにするかを検討していただきたい。人が変わることにについては、校長やPTA会長の変り目の時期は大変かと思うが、学校運営協議会の他の委員が変わらなければ、持続可能な学校運営や地域の体制づくりができると考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>安全安心支部会議は中学校区であり、コミュニティスクールは中学校区のみではなく、話し合いがうまくいくかは気になる。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>確かにコミュニティスクールは各学校で実施する場合と中学校区で実施する場合がある。仮に学校ごとの学校運営協議会となっても、日頃より中学校区内の小中学校で連絡を取りあっているため、その地域できちんと話ができばうまくいくのではないかと思う。</p>
<p>議長</p>	<p>先日、入間地区社会教育協議会の社会教育委員部会の中で、日高市のコミ</p>

	<p>ユニティスクールの資料をもらった。日高市は、小学校、中学校、公民館というセットがグルーピングされていて、コミュニティスクールがやりやすかったようである。所沢市はそのようにはなっていない。学区の関係もあるので、丁寧に進めていってもらいたい。</p>
委員	<p>小学校区と中学校区でコミュニティスクールができるとなると、そこにある地域は一つであり、人によっては両方のコミュニティスクールに関わることになるのではないかと。地域に負担が来る気がして不安である。</p>
学校教育課	<p>その点は課題として捉えている。地区によっては、一人が複数のコミュニティスクールの委員になるというケースがあるかもしれない。個人の事情を踏まえて、選出していく必要があると考えている。</p>
議長	<p>委員の推薦は校長であり、人選は大変かと思う。以前、裁判員裁判を裁判の民主化として導入されると聞いているが、コミュニティスクールも学校の民主化と理解している。先ほどの説明でも当事者という言葉が繰り返し出てきたが、当事者意識が大切と考えている。地域の方々には、小学校、中学校にそれぞれ思いがあると思う。入り口として最も重要なことは、地域の方々にどういう動機づけをするかだと考えている。地域の方々に当事者だと伝えて、どのような反応があるかが一つの大きな山である。民主主義の最も敵となるものは、無関心である。地域の方々や保護者の方々が学校に無関心であると、どんなに良い制度でもうまくいかないと思う。地域と一緒に進めていくということを強調しつつ、スタート地点でボタンの掛け違いがないようにしてほしい。</p>
委員	<p>学校では、昔から開かれた学校づくりが求められている。今回の学校運営協議会は、一定の権限がもたされた協議会であり、学校が構えてしまうこともあるのではないかと。良い方向に機能すればよいが、100%うまくいくわけではないので慎重に進めて欲しい。社会教育委員会議で議題となっていて、この方向で進めるということかと思うが、大所高所から様々な意見が出てくると思う。教育委員会会議や市の総合教育会議での議論や取り扱い、方向性がどのようになっているのかお話をいただきたい。</p>
社会教育担当参事	<p>教育委員会会議では、所沢市でも試行としてコミュニティスクールを始めることは予算審議の中で伝え委員の意見も頂いている。方向性や具体的な内容については会議で諮ってはいない。</p>

議長	<p>地域との関係性の視点から、社会教育委員会議で審議をするということか。</p>
社会教育担当参事	<p>学校の運営に地域がどれだけ関わることができるのかは重要となってくる。ただ学校ごとに協議会を作ればよいのではなく、どう地域に関わってもらえるかを考えていくことが必要であり、社会教育分野からのアプローチも大切である。そこで、社会教育委員会議で委員の皆様から意見をいただきたいと考えている。</p>
議長	<p>今年度モデル校がスタートし、来年度から中学校区でもスタートする予定であり、来年度スタートする学校はいくつあるか。</p>
学校教育課	<p>最低15校区、最大で18校区でコミュニティスクールがスタートする予定である。</p>
委員	<p>複雑化・多様化する学校課題への対応ということで、地域の方々が関わらなければならない課題、先生方では解決できない課題とは何かを具体的に教えて欲しい。国が進める共助のような、学校だけでは出来ないことを担ってほしいという雰囲気にとれる。</p>
学校教育課	<p>例えば、核家族化が進み、不登校問題の場合に家庭だけで抱え込んでしまうケースがある。このようなケースでは、学校だけでは手が足りないので、支援いただきたいと考えている。</p> <p>また、子どもたちが教科書で学習するだけでなく、体験活動を充実させ、より実践的で社会につながる学習をしていくために、色々な社会経験を持つ方に入っていただくことも大事と考えている。経験の浅い教員もいるため、教員だけではなく、社会経験が豊富な方に入っていただくことで、より充実した教育活動につながると考える。</p>
教育長	<p>社会情勢が変わってきており、学校をサービスと考えている人もいて、初任者でも経験豊富な先生でも同じ質の授業をしてほしいと求められる。ニーズが多様化していて、学校だけでは対応できず、地域の方も巻き込んでいく流れになっている。</p> <p>学校評議員も学校応援団も校長次第である。積極的に地域と関わる校長もいれば、関わらない校長もいて、学校が安定しない部分がある。学校運営のイニシアチブを校長だけに持たせるのではなく、地域の共同体で持つことで、地域の学校となるのではないかと。コミュニティスクールを進めるこ</p>

議長	<p>とで、おらが村の学校という雰囲気は地域に戻ってきてもらいたい。保護者や地域の方が熟議の中で課題について話し合い、組織として解決に向けて動きができるようになれば、学校が変わっていくと思う。</p> <p>この議論を深めていく場所が、社会教育委員会議だとすると、今後、学校教育課の方やモデル校の方の話が聞けると良いのではないかな。</p>
委員	<p>入間市では、今年からコミュニティスクールが始まった。細かい規約も存在している。所沢市ではどのような状況か。</p>
学校教育課	<p>現在所沢市では、モデル校の取組を基に検討を進めている。</p>
委員	<p>学校評議員の時代は開かれた学校を目指していたが、学校運営協議会は地域と共に歩む学校を作りたいということと思う。入間市では評価を行うと規約に書いてあるので、所沢市もそのようになると思う。</p> <p>1つの意見として、学校の先生は忙しくなるのではないかな。保護者や現役世代の人を会議に呼ぶとなると、昼間の会議は難しいので、夜の会議になってしまうのではないかな。学校の先生方が協力しないと動かない活動だと思うので、学校の先生がどのように受け止めているかなど先生方の負担をどのように捉えるか気になっている。働き方改革と逆行する部分もあると思う。</p>
委員	<p>地域で子どもたちを育てていくという趣旨は大切にしていきたいと考えている。一方、学校の負担については、スクラップ&ビルドで考える必要があると思う。来年度は本校でも実施したいと考えているが、今までの流れがあるので、地域の方への説明等、慎重に進めていきたいと考えている。</p> <p>委員の選定はどうするかということは課題である。学校運営協議会は所沢市全体として取り組むことであるので、まちづくりセンターや法務局、民生児童委員、こども相談センターの福祉部局など所沢市にかかわるたくさんの方々にも入っていただき、地域事情に配慮しながら委員の選定ができると良いと考えている。委員の選定は、校長が委員をあたっていくことと考える校長や、そうではないと考える校長もいる。こうした意味でも、所沢市全体で考えてほしい。</p>
議長	<p>(2) 公民館運営審議答申後の対応について 事務局より、説明をお願いしたい。</p>

<p>社会教育担当参事</p>	<p>5月26日の公民館運営審議会からの答申について、委員の皆様には既に報告しているところだが、この答申を受け、今後市としては、どうしていくのかについて、説明する。</p> <p>昨年度、公民館運営審議会が諮問を受けた「管理権限の集約化に向けた公民館のあり方」について、この5月に答申を受けた。答申内容は、管理権限を集約化する上で「社会教育施設としての公民館の機能をきちんと維持し、それを拡充すべき」「例規などで体制や役割を担保する」「公民館としての施設整備や人員の配置・育成等を充実させていく」というものである。</p> <p>この答申を受け、まちづくりセンターを所管する市民部と教育委員会との共催で、この秋ごろ2回目となる「市民の声を聴く会」を開催する予定である。そこでは、先日実施した「市民アンケート」の結果や本答申の内容を説明し、改めて集約化についての意見を伺う予定である。</p> <p>「市民アンケート」については、この4月20日～5月11日に、全まちづくりセンターが利用者に対して、管理権限の集約化についての意見を伺うアンケートを実施した。アンケートの説明文では、市長部局所管のまちづくりセンターに、公民館の管理権限等の集約を検討し、公民館をまちづくりに即応していけるように改善していきたいと説明している。こちらが、実際のアンケートである。右側の大きな項目の2で、集約化に対し「賛成か反対か」と、その理由を伺っている。この項目に回答したのは、250名で、賛成は32%、どちらでもよいが56%、両方で9割近いものであった。反対意見は12%であった。それぞれの回答での主な理由について、賛成意見では「わかりやすい、迅速な対応になる、まとまりやすい」、反対意見では、「今まで通りでよい、不便になりそうで不安、社会教育の理念が失われそうで心配」というものがあった。「どちらでもよい」の回答では、「よく分からない」と、いう意見が多くみられ、市民には、しっかりと説明をしていく必要があると考えている。</p> <p>引き続き、市長部局の市民部と連携して、集約化については、丁寧に事務を進めていく。今後の社会教育委員会議においても、その進捗状況等も逐次報告させていただく。以上である。</p>
<p>議長</p>	<p>3月の社会教育委員会議でも、公民館運営審議会の答申については、話をしている。答申の一言一句について議論することはしないが、市長部局のまちづくりセンター担当参事からも今後の方向性について報告いただくものとするがいかかがか。</p>
<p>社会教育担当参事</p>	<p>今後の社会教育委員会議で市民部からの説明も必要と考えている。</p>

議長	<p>今後も継続して、公民館の事を取り上げていきたいと考える。 秋に計画されている市民の声を聴く会の日程は決まっているか。</p>
社会教育担当参事	<p>秋頃の予定とのことだが、具体的な日程は決まっていない。</p>
議長	<p>各委員の関心も高いので、スケジュールが決まったら知らせてもらいたい。</p> <p>以上で、議事2は終了としたい。</p> <p>(3) その他 下記の3点について、事務局より報告をした。 「①生涯学習推進センター運営協議会の委員について」 「②入間地区社会教育協議会について」 「③所沢市子ども写生大会の報告について」</p> <p>【4 その他】 下記の2点について、各課より報告をした。 「①文化財保護課事業紹介」 「②所沢図書館事業紹介」</p> <p>【5 閉会】</p>
副議長	<p>コミュニティスクールに関して、多くの意見が出て、活気ある会議だったと感じた。社会教育に関わる部署と社会教育委員と所沢市を盛り上げていけることはありがたいことだと実感している。地域活動を通して地域の盛り上がりも実感し、防災訓練等でも地域の人達で地域を守ろうという意識が芽生えてくれればと思う。以上で、閉会とする。</p> <p style="text-align: right;">《以上で終了》</p>